

※全学教育科目においてレポート提出にデジタル媒体を利用する場合の手引

《基本的な考え方》

一般にデジタルデータをネットワーク経由で取り扱う際には、利便性が安全性などと必ずしも両立できていないという現実があります。レポートは試験の答案用紙同様、学生の学業成績や人生も左右する可能性のある重要な文書ですから、それをデジタルファイルとしてネットワーク上で扱うには、したがって特段の注意が必要と考えられます。

レポートをデジタルファイルで提出する手段としては、利便性と安全性・確実性が比較的高い位置で均衡しているISTUの学習管理システム(ISTUシステム)にあるレポート提出機能の利用を推奨します。レポートが受領されたことを学生が自分で確認できます。またレポートの提出だけでなく、コメントや評点などをファイルに書き込んだものを受講学生に返却する機能も備えています。

なお、メールを利用してレポートの送受信を行うことは、メール送受信の不確実性に加え、第三者への漏えい等セキュリティ上の観点からも推奨できません。

《ISTUシステムのレポート提出機能の使い方》

1-1. 教員側の要領

- (1) レポート課題の公開期間、ならびにレポートの提出期限を適切に設定します。
- (2) 実際に学生が行うレポート提出操作と同じ操作を行える教材確認画面から、レポート課題の内容・提出期間等が適切に設定されていること、ならびにレポートを正しく提出できることを確認します。なお、教材確認画面は、ISTUシステムのトップページの「受講及び教材確認用授業科目」にある授業科目一覧、もしくは「タスク選択」メニューにある「受講/教材確認」を選択し、表示される授業科目一覧から当該授業科目を選択することで確認することができます。
- (3) 提出するレポートのファイル形式については、学生の利用環境の多様性に十分配慮してください。具体的には、以下に配慮してください。
 - a 学生の利用環境に広く対応できるよう、個別のソフトウェア製品名やバージョンなどを細かく指定するのではなく、例えばPDFなど多くのオペレーティングシステムで共通に利用可能な形式によるファイルを提出させます。
 - b 特定のファイル形式を指定する必要がある場合(アニメーションを含むプレゼンテーションなど)、学生の利用環境を十分考慮し、学生と教員が共通に利用可能なファイル形式を(1種類以上)指定するようにします。基本的には、指定しようとするファイル形式に対応できない学生が一人でもいる場合、教員はその形式を指定しないことが最低限の条件と認識してください。
- (4) 受け取ったレポートに対し、ISTUシステム上から評価結果やコメントを登録する、もしくはコメントを記入したレポートファイルを登録し、返却するなど、学生に何らかのフィードバックを行い、提出されたレポートを確認していることをできるだけ明確にする対応が推奨されます。
- (5) 学生から、レポートを提出したにも関わらず成績評価結果に不服がある等の申し出があった場合、レポートが確かに提出されていたかどうかを確認した上で対応します。
- (6) 1-2に示す学生側の要領(1)~(4)を説明します。

1-2. 学生側の要領

- (1) レポート提出の際には、レポート提出操作の後、正しく提出されているかを必ず確認します。特に、webページからファイルをアップロードする場合、webブラウザ上でファイルを選択しただけではシステムに登録されません。ISTUシステムからレポートを提出する場合にも、レポートファイルを選択した後、必ず、「提出」ボタンを押下し、レポートファイルをアップロードするとともに、同画面から提出したレポートファイルをダウンロードし、ISTUシステム上にレポートファイルが正しく登録されていることを確認します。
- (2) 作成したレポートファイルは、レポート提出後も更新や削除をせず、必ず保存しておきます。
- (3) レポートを提出するときは、安全性・確実性を向上させるため、大学内のネットワークに接続されたコンピュータからISTUシステムにアクセスすることを推奨します。

(4) レポート提出期限内にISTU システムにアクセスし、レポートを提出しようとしたにも関わらずレポートが提出できないときは、その旨を速やかに担当教員に報告してください。

1-3. ISTU システムの利用に関する補足説明（教員、学生共通）

(1) ISTU システム (<https://xapp.istu.jp/>) へのログインには、教員の場合は東北大ID、学生の場合は学籍番号ID を使用します。ログイン方法の詳細については、ログインページに掲載されている注意事項、ISTU チュートリアル(教員・TA編)、及び教育情報基盤センターweb サイトにある『東北大学生のための教育系情報システム オンラインガイド』

(<http://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/>) を参照してください。

(2) ISTU システムのレポート提出機能の詳細については、同じくISTU チュートリアル(教員・TA編)及び同オンラインガイド (URL:同上) を参照してください。

(3) 学外からISTU システムを使用する場合、SRP システムによる認証が必要になります。SRP の詳細についても、上述のオンラインガイド (URL:同上)を参照してください。